

■ インターンシップを通じた大学実習生との交流

当事務所では、今年度、インターンシップに参加する学生を受け入れ、2週間の実習を行いました。

【インターンシップの概要】

期 間 令和7年9月1日(月)～9月12日(金)

参加者 弘前大学3年生3名

- 内 容
- ① 現地実習（機能診断調査、ドローン操作、流量観測、測量）
 - ② 国営実施地区現地調査（旭川地区、成瀬皆瀬地区）
 - ③ 土地改良区との意見交換（田沢疏水、能代地区、大湯）
 - ④ あきた型ほ場整備、園芸メガ団地見学（畑屋中央地区）
 - ⑤ 営農状況調査及び営農者との意見交換（たかはし農舎、ねぎ農家）
 - ⑥ 若手職員との意見交換
 - ⑦ 成果発表会、等を行っています。

【実習の様子】



【学生からの感想】

- 大学では学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。
- 事業所職員の方から用排水路の構造や、工事の難しさなどを学びました。
- UAVや測量機器などの操作、機能診断や流量観測といった実習の場面が強く心に残りました。
- 現場への移動時間や相手方の予定もあると思いますが、もう少し実習の時間が長く取れるともっと良かった。
- 農林水産省への就職を志している中で今回のインターンシップに臨んだということもあり、初めは、緊張と不安があったが、職員の皆様方と仲良く安心して実習を行うことができた。